

室内かべ

ビニルクロス モルタル



リビング・寝室・
子供部屋・
玄関・廊下・
洗面所・トイレ

竹炭によりつやムラのないきれいな仕上り

アトム竹炭塗料



水性

超強力防カビ効果で浴室にも塗装可能

無臭かべ
(水性かべ・浴室用塗料)



水性

汚れが落としやすい3分ツヤで洗面所にも

フリーコート



水性

低

つやの度合い

高

スケジュールを決めましょう

6畳間の場合

※1 水性下塗剤は未塗装モルタルの場合に必要です
※2 フリーコートの上塗り可能時間は夏期2時間以上

工程	使用材料	塗布量(ℓ/㎡)	塗り重ね可能時間(夏期)	理想の人数と時間
1 目	清掃	—	—	2人 60分
	マスキング	—	—	2人 90分
	下塗り	水性下塗剤※1	0.08~0.14	3時間以上 2人 150分
	補修	かべ用充填剤 かべ紙用接着剤	必要量	1日以上 1人 状況による
2 目	上塗り1回	竹炭塗料	0.1~0.15	1時間以上※2 2人 150分
	上塗り2回	無臭かべ フリーコート	0.1~0.15	— 2人 150分
	あとしまつ(マスキングテープはがし等)	—	—	2人 30分

作業人数の目安 2人



作業人数の目安とは
その作業の難易度、作業性に
相当する理想的な人数の目安
です。例えば2人で行う作業を
3人で行った場合、より効率的
に進められるといえます。

部屋の広さと塗料の必要量の目安 2回塗りの場合

部屋の種類	かべ面積 (天井を含む場合)	塗料必要量	
		〈天井なし〉	〈天井あり〉
トイレ	約11.4㎡ (約13㎡)	1.6L×2缶	1.6L×2缶 0.7L×1缶
4.5畳	約20.6㎡ (約27.9㎡)	1.6L×3缶 0.7L×1缶	1.6L×4缶 0.7L×1缶
6畳	約25㎡ (約34.7㎡)	1.6L×4缶	1.6L×5缶 0.7L×1缶
8畳	約29.4㎡ (約42.4㎡)	1.6L×5缶	1.6L×7缶
10畳	約33.6㎡ (約49.8㎡)	1.6L×5缶 0.7L×1缶	1.6L×8缶

*トイレはドア1カ所、居室はドア1カ所、掃き出し窓を差引いた面積

<塗料と養生用品の必要量> 標準的な6畳洋室(2回塗りの場合)

●マスキングテープ
1100mm×25mm巻き:1巻

窓、ドア、エアコンの養生に使用

●ポリシート:
10㎡分

床面の養生に使用



●マスキングテープ

18m巻:
4~5巻



●塗料

1.6L:5缶 + 0.7L:1缶



または



塗装面積
34.7㎡
(天井も塗装)

(面積の算出方法は4ページをご覧ください)

使用する道具

☑ 買い忘れがないかチェックを! 塗装用具は作業する人数分用意しましょう。作業効率もあがります。

塗装用具

化繊の比率が高い水性用が万能用がおすすめです



ローラーバケは中毛タイプをお選びください



広い面を効率的に塗れます

ハケ(本)

ローラーバケ(本)

ローラーバケを使用する場合は塗り皿やバケツが必要ですよ



ローラーバケ塗り皿(個)

かくはん棒

養生

塗料のはみ出しを防ぐために使います。



マスキングテープ()巻き

マスキングテープとポリシートが一体となっており広範囲を保護できます



[新聞紙]

マスキングテープ()巻き

ポリシート(枚)

清掃・補修

かべ紙の補修が必要な場合



かべ紙用接着剤



パテベラ



かべ押さえローラー



雑巾・ウエス



中性タイプ

住宅用洗剤



手袋(双)

●高い所の作業には継ぎ柄や脚立があると便利です

① 清掃・下地処理(補修) 洗浄や補修等の下地処理は、塗装をする日の前日に行ってください。

清掃



油分 手アカ
タバコのヤニ

●全体を濡れ雑巾で水拭きし、塗る面の汚れを取り除いてください。

等の汚れは、市販されている<中性タイプ
の住居用洗剤>で除去してください。

住居用洗剤を使用した後は、洗剤分が残らない
ように十分に水拭きをしてください。



*詳しい使用方法
等は、購入され
た製品の表示を
よくご確認ください。

カビ

がある場合は、市販のカビ取り剤を使って除去してください。使用後は、必ず水拭き
をしてください。<無臭かべ>は強力なカビ止め効果を発揮しますが、よりカビを防ぎ
たい場合には、塗装後に<カビ止スプレー>をお使いください。

補修

! 水拭きした場合は、塗装の前に充分に乾燥させてください

●かべ紙の補修

めくれている部分は、市販されているかべ紙用接着剤を
注入し、はみ出た接着剤が残らないように布で拭き取り、
かべ紙接着ローラーで押しながら貼ってください。
破れている部分は、その寸法より大きいかべ紙をその箇所に
重ね合わせ、その上から四角くカッターで2枚一緒に切り込み
を入れます。破れているかべ紙を取り除いた後、一緒に切った
かべ紙を取り除いた箇所にかべ紙用接着剤で貼ってください。



カビ止スプレー

塗料ではめくれたかべ紙を補修
することはできません。塗装の
前にしっかり補修しましょう

*かべ紙用接着剤をご使用の場合は、接着剤の乾燥時間を確認
し、充分に乾燥させるために、前もって処理してください。

●室内かべ全般の補修

穴やひび割れは、一般的なエマルジョン系のかべ
用充填剤(塗料の上塗り可能なもの)で埋めて、
余分な充填剤をヘラで削ぎ落としてください。
充填剤も塗装の前に充分乾燥させましょう。



*かべ紙専用のりでかべ
紙を接着する際、かべ紙
用接着ローラーを使うと
より接着力が強まります。

② マスキング(養生) ~はみ出しや汚れを防ぐ為の処理~



塗りたくない部分や塗料が付着する
と困る部分は必ずマスキングテープ
を貼ってください。マスキングテープ
は、幅の広い物(24~30mm程度)
をおすすめします。

床面や家具には新聞紙や
マスカー等で保護すると
塗装時の汚れが防げます。

マスカーはマスキングテープと
ビニルシートが一体になってお
り、とても便利です。

! マスカーはテープの
粘着が強いので、マス
キングテープの上にマ
スカーを貼りましょう。

! 床面の養生も忘れずに!
ポリシートで覆いましょう



! きれいに仕上げるために「きわ」
はしっかり抑えてください。

③ 下塗り ! 未塗装モルタルかべ、かべに塗る場合は、水性下塗剤の塗装が必要です

下地を固める

吸い込みを止める

付着性を高める

耐久性を高める

水性下塗剤/ 透明(液状は乳白色)



未塗装モルタルは表面が粉っぽく、また吸い込みがあります。そのまま
上に塗料を塗るとはがれやすいので、予め「水性下塗剤」を塗って下地
を固め(押さえ)、上塗り塗料の密着性を高めておきましょう。

上塗り可能時間 3時間(冬期は6時間)以上

! ビニルクロスには水性下塗剤は必要ありません。

(水性下塗剤バリア(右記)はビニルクロスに使用出来ます)

●ヤニ止めが必要な時は…

ヤニ止め効果のある下塗り剤「水性下塗剤バリア」をご使用ください。

ヤニ止め効果

木のアク止め効果

防カビ性能



ホワイト色の下塗り剤なので、
特に淡色系の上塗り塗料が
きれいに仕上がります

水性下塗剤バリア

容量:2L 塗り回数:1回

用途:繊維壁・砂壁・京壁・ビニルクロス・モルタル
コンクリート・しっくい・木工品等の下地調整用



塗料をかき混ぜる

塗料は様々な原料から成る混合物のため、一部の色の粉が沈んでいることがありますので

！ 中身をよくかき混ぜてください。

フタを開ける前に容器を逆さにしてよく振りまわす。フタに手をそえてマイナスドライバー等で開け、容器の底にドロツとした固まりがなくなるまでヘラなどで充分にかき混ぜてください。

かき混ぜる作業が終わりましたら、使用する分を塗り皿や別の容器に移してご使用ください。



▲ 缶の縁の溝に布を挟み込むと缶を汚さずに移しかえることが出来ます。

口の小さい大きな缶の場合は、

缶を逆さにして、一辺を床につけ支点とし前後によく振った後、缶切りなどで天面を切り開いてからヘラでかき混ぜてください。



手を切らないように注意!

天面を切り開くと保存ができなくなります。保存する場合は、密閉できるさびない容器に入れ保存してください。

塗料を塗る

ローラーバケでは塗りにくい隅からハケで塗る

ハケはまず使う前に抜けやすい毛を取り除いてください。塗料はハケの根本まで付けるのではなく、毛先から2/3程度まで付け、塗り皿のフチで余分な塗料を落としてください。ローラーバケでは塗りにくい隅から先にスジカイバケで塗りましょう。厚塗りを避け、塗料をのばすように塗ってください。

広い面はローラーバケで塗る

最初に軽くローラーバケをゆっくり転がして塗料を配り、その後ムラにならないように上下(場合により左右)にならして仕上げる方法が一般的です。塗料を付けすぎたり強く押しつくとローラーバケの端から余分な塗料が出てライン状に溜まりが出来やすいので、付け過ぎに注意してゆっくり転がします。勢いよく転がすと塗料が飛び散ることがありますので、顔にかかったり、目に入らないよう注意してください。

● 凹凸がある面に適しています



ローラーバケ塗装

ハケ(スジカイバケ)で全面仕上げると作業的に大変ですし、ムラなくきれいに仕上げるのが非常に難しくなります。その点ローラーバケやコテバケは効率的に作業でき、均一に力が伝わりやすいので広い面をキレイに仕上げられます。

厚塗りに注意してください



ここがポイント... 塗装の途中で手直しはしない

塗っていくとどうしても先に塗ったところの塗りムラ(厚い、うすい)が目についてしまいます。塗ってすぐであれば手直しできますが、乾きはじめてところの手直し(補修塗り)は、半乾きの塗膜を引っ張って仕上がりが悪くなってしまったり、よけいにムラが目立ってしまいますので、手直しは必ず乾燥してからおこないましょう。

天井に塗る場合は...



天井の塗装は、脚立に乗っての作業になりますので危険が伴います。また顔に塗料がかかってしまうことがありますので充分注意してください。



*天井に塗る場合は、保護メガネ等を装着して、目に入らないように注意してください。

2回塗りのすすめ

水性かべ・浴室用塗料、竹炭塗料、フリーコート^{*}は通常1回塗りですが、初めて塗装する方や慣れていない方、またきれいに仕上げたい方は2回塗りをおすすめします。うすく塗り重ねた方が塗りムラになりにくく、仕上がりがより美しくなります。

1回目と2回目の塗り重ね可能時間:1時間(冬期は4時間)以上

^{*}フリーコートの塗り重ね可能時間は2時間(冬期は5時間)以上

高いところは、つぎ柄や脚立を使って塗ってください。



伸縮タイプのつぎ柄高さに合わせて調整できます。

■上手に仕上げるためには厚塗りはしないでください!

● 本来の仕上り



きれいに凹凸模様が残っている

凹凸模様のかべ紙は、厚塗りすると凹凸模様が潰れてしまいます。塗り残しがないよう注意しながら伸ばしめに塗りましょう。

● 厚塗りした仕上り



厚塗りで凹凸模様が潰れている

厚塗りになってタレが生じた状態。すぐに伸ばしましょう。

● 厚塗りしてタレが発生



厚塗りになってタレが生じた状態。すぐに伸ばしましょう。

*厚塗りは見た目が悪だけでなく、乾燥不良などのトラブルを起こす事があります。



■後片付けを楽にするには...

塗装後の塗り皿の洗浄は、意外と手間がかかります。そんな手間を省くためには、使用する前に予めひとまわり大きなビニル袋で覆ってご使用ください。そうすれば塗り皿に塗料がつかないので後片付けが楽です。



■粘度が高く、塗りにくい時は水でうすめましょう!

<無臭かべ、アトム竹炭塗料、フリーコート>はうすめなくても塗れる仕様になっていますが、塗りにくい時は水を加えてよくかき混ぜてください。



[うすめる目安]

- ・塗料0.7Lに対し、水35ml以下
- ・塗料1.6Lに対し、水80ml以下

■塗装をいったん中断する時は...

塗装の途中で休憩や食事をとる場合は、ハケや塗り皿が乾かないようにビニル袋に入れて密封したり、ラップを巻いて外気に触れないようにしましょう。ちょっとした時間ならこれで大丈夫です。



5 あとしまつ



●マスキングテープは、乾く前にはがしてください

乾燥した後ではがすと、マスキングテープと一緒に塗膜がめくれてしまう恐れがあります。塗膜がめくれてしまいそうな時は、**境目に軽くカッターナイフで切れ目を入れてから**はがしてください。



2回塗りの場合は2回目の塗装の後にマスキングテープをはがします。(最終塗装が終了したらマスキングテープをはがします)



●用具の手入れは水で行ってください

ハケは、含んでいる塗料を新聞紙等で拭き取った後、乾く前に水洗いをしてください。洗い終わったら十分に水気を切り、陰干ししてください。塗り皿も同様に新聞紙等で拭き取り、水洗いをしてください。用具の手入れは乾燥する前に行ってください。乾燥するとハケの毛が固まって使用できなくなってしまうのですぐに洗わない場合は水に浸けておきましょう。

6 乾燥

塗装後も換気をよくして十分に乾燥させてください。塗装した後、しばらく臭気が残ってしまう場合があります。手で触れる乾燥時間は、夏場で30分~60分、冬場は2~3時間です。

*この時間は、指で軽くこすって跡がつかない状態です。完全に乾くまでには約1日かかります。



完成(イメージ)



室内かべの面積の目安

*室内の高さを2.4mとした場合

室内のかべは部屋の種類や窓の数などで異なります。正確に計ることが最も理想的ですが、このように概算で算出することもできます。

かべの総面積から建具(ドア、ふすま等)を差し引いた面積



ドア
= 約1.8㎡
(0.91m x 2m)
ドア・クローゼットなど

掃き出し窓
= 約3.6㎡
(1.8m x 2m)

ふすま・押し入れ・クローゼット・掃き出し口など

天井なし総面積=30.4㎡
天井あり総面積=40.1㎡